

令和5年度 農村工学研究部門・水資源機構技術情報交換会を開催しました

農研機構農村工学研究部門は、1/25（木）に水資源機構との技術情報交換会を Web 会議にて開催いたしました。本技術交流会は年に 1 回実施されており、本年度は水資源機構にホストをお務め頂きました。

農村工学研究部門からは、農業用ダムの事前放流による洪水調節効果（水利工学研究領域 流域管理グループ 相原研究員）、農業水路の保全（施設工学研究領域 施設保全グループ 川邊主任研究員）に関する技術情報の提供を行いました。水資源機構からは、香川用水の水管理における DX の取組、AUV（小型自立式無人潜水機）による宇連ダムでの堆砂測量について、情報提供されました。

各技術情報についての報告後には活発な質疑応答が実施され、農業水利施設における DX および保全のための技術、流域治水やダム堆砂の調査技術についての意見交換が行われました。また、水資源機構の参加者からは、元日に発生した能登半島地震での被災ため池の現地調査において、GIS システム（ため池防災支援システム）が非常に役に立った旨のご発言がございました。

農村工学研究部門と水資源機構は、それぞれ農業水利施設を対象に研究、調査業務を実施しており、共通の認識・課題を抱えております。このような技術交流の場により、情報・意見の交換を実施することの重要性を改めて認識した次第です。次年度は、農村工学研究部門がホストとなり技術交流会を開催する予定としております。

（行政連携調整役：林田 洋一）



Web 会議の状況



講演を行う相原研究員



講演を行う川邊主任研究員